

## 谷川縦走山行報告

(山 域) 谷川連峰

(コース) 柘植さん宅、会事務所⇒宿場の湯前駐車場～登山口⇒二居峠⇒東谷山⇒日白山⇒峠⇒登山口  
⇒駐車場⇒宿場の湯⇒解散

(日 時) 平成 29 年 3 月 12 日 (日)

(天 候) 晴天

(参加者) CL : 柘植、SL : 細谷、石崎、澤田 (路)、加藤、田上 (桃)、薄井、石橋、記録 : 滝本

(山行タイム) 宿場の湯前駐車場 7 : 45 出発 8 : 05～登山口 8 : 15⇒二居峠 8 : 50⇒

東谷山 10 : 40-10 : 55⇒日白山 11 : 55-12 : 15⇒峠 12 : 45⇒駐車場 14 : 15

(山行報告)

当初の計画は 1 泊 2 日で東谷山～日白山～平標山まで行く予定でしたが、日帰りで東谷山～日白山となり、薄井さん、石橋さんも参加して総勢 9 名となりました。

駐車場は宿場の湯の近くの駐車場が 1 台分空いていたので、そこに他の車の邪魔にならないように 2 台縦列駐車して停めました。支度をして登山口まで向かったのですが、融雪道路の路面が凍っていて転倒者が続出して、そこが本日の一番の難所でした。水が出ていないところは乾いていたのですが、水が出ているところだけ凍っていて、雪を溶かすための水が逆に凍る原因になっていたようです。

前日は雪が降ったとのことでラッセルの心配が有りましたが、踏み跡がしっかりしていてアイゼンやスノーシュー、スキーの跡もありましたが、つぼ足でも全く問題ありませんでした。最初はいくつもの踏み跡のルートがあり、その中でも急斜面のルートをジグザグに切り返しながら登って行きます。風がほとんどなくとてもいい天気、歩き始めるとすぐに汗が出てきて服を調整しました。

二居峠にはテントと立派な雪のテーブルとイスが作られていて、そこで記念撮影。東屋は、屋根だけ残して雪に埋まっていて、かなりの積雪量というのがよく分かります。



最難関の凍った路面



二居峠

二居峠を過ぎて暫く行くと右側に雪庇が現れ、しばらくは雪庇に沿って歩きます。この頃から周りに登山者が多くなり、山スキーやスノボの人も増え、雪洞も 2 か所に作られていました。徐々に傾斜が緩やかになり、東谷山山頂 (1,553m) に到着して 15 分ほど休憩。



雪庇



東谷山山頂 (1,553m)

その後はやや急な下りで右側に雪庇があるようですが、雪庇には近くないので怖い感じは全くありません。東谷山から約1時間で日白山に到着です。

山頂には穴があるようなので見に行くとかかなり深いクラックでした。残念ながら写真を撮り忘れてしまいました。山頂には人がたくさんいて、移動する時などに、ついハマりそうになります。山頂の平らな部分の中央付近にあるのでどちらが崩れるのか分かりにくいですが、雪庇の出来具合から見ると南西側のように思われます。いつかは崩れると思われるので、今後行く人は要注意です。

日白山山頂からは、東谷山に戻ったり、スキー、スノボの人が多いため、先に行く人はあまりいないようで、ルートはあまり踏み固められていなくて踏み込むと大きく沈み込むことが多くなってきました。急斜面ではトレースを外して歩くのも楽しいものです。



日白山山頂 (1,631m)



山頂から下り始め

最初は広い尾根ですが、次第に狭くなりトレースを外すのは危なくなってきました。踏み抜きもひどくなり、なかなか進まなくなってきたのでワカンを付けることになり、鞍部からは樹林帯を下って行きました。

樹林帯の中にも急斜面があり、ワカンが外れて付け直しに手間取ったりしました。他のグループのスノーシューの人たちもブレーキが効かなくて何度も転倒していました。



峠から1時間ほど下ってきたところで雪もしっかり踏み固められていたので、ワカンを外しました。  
14:15に駐車場に到着。駐車場のすぐ目の前にある宿場の湯で汗を流して帰途に着きました。宿場の湯は600円でしたが、ネットで調べるとJAF会員は20%引きとのことでした。

1日中晴れていて風もほとんどなく、とても気持ちのいい山行でした。

ここは絶好の山スキーポイントですね。次回は山スキーで！



見事なテレマーク  
ではなくてワカンでした



宿場の湯  
ちょっと斜めになっちゃいました

